

教科目名 数値解析Ⅱ (Numerical Analysis II)

学科名・学年 : 制御情報工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 徳尾健司

授業の概要				
計算機シミュレーションのための数値解析の標準的な事項について, 理論 (数学) と実践 (プログラミング) の両面から学ぶ. 教室での講義に加えて, 実験室で演習も行う. 言語は Java を用いる.				
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B1), JABEE 目標 (g)		
(1) 関数の補間や近似について理解できる. (定期試験と小テスト)				
(2) Fourier 解析について理解できる. (定期試験と小テスト)				
(3) 数値微積分について理解できる. (定期試験と小テスト)				
(4) 常微分方程式, 偏微分方程式の解法を理解できる. (定期試験と小テスト)				
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検	
1 - 3	補間と近似 (多項式補間/3 次スプライン補間/最小 2 乗近似)	○有限個のデータに対する関数の補間や, 誤差を含む点列に対する関数の近似について学ぶ.	【理解の度合い】	
4 - 5	Fourier 解析 (Fourier 級数/離散 Fourier 変換/高速 Fourier 変換)	○離散データを対象に定義される離散 Fourier 解析と, その効率的な計算法である高速 Fourier 変換について学ぶ.		
6 - 7	数値微分と数値積分 (数値微分/数値積分)	○微分値や積分値を数値的に求める方法について学ぶ. 各内容について, 毎回授業の最後に小テストを行い理解度を確認する.		
8	後期中間試験			【試験の点数】 点
9	後期中間試験の解答と解説			【理解の度合い】
10 - 12	常微分方程式 (常微分方程式の初期値問題/1 段法/多段法/連立および高階常微分方程式)	○常微分方程式の初期値問題と境界値問題の解法について学ぶ.		【試験の点数】 点
13 - 14	偏微分方程式 (偏微分方程式の分類と境界条件/双曲型方程式/放物型方程式/楕円型方程式)	○偏微分方程式 (双曲型, 放物型, 楕円型) の解法を学ぶ. 各内容について, 毎回授業の最後に小テストを行い理解度を確認する.		
15	後期末試験 後期末試験の解答と解説			
履修上の注意	原則として毎回, 授業内容の理解を問う小テストを実施するので, 授業を良く聞いて理解に努めること.		【総合達成度】	
教科書	峯村吉泰, 「Java で学ぶシミュレーションの基礎」, 森北出版.			
参考図書				
自学上の注意	教科書を用いて予習することが望ましい.			
関連科目	数値解析 I, 数値計算 (専攻科)			
総合評価	達成目標の (1)~(4) について, 2 回の定期試験と授業時の小テストで評価する. 総合評価 60 点以上を合格とする. 総合評価 = (定期試験の平均) × 0.7 + (小テストの平均) × 0.3 再試験は年度末の再試験期間に実施する. 受験資格者については試験解説時にアナウンスする.		【総合評価】 点	